



図2 服薬指導の有無を記載するに当たっての対策案と問題点

SOAP形式の導入、自己管理などの表示の検討に至った。今回の発表までに後者2項目の運用開始に至ることはできなかったが、他職種の見解なしにここまでの検討には至らなかったと思われ、今後も幅広く意見を聞きたい。

提携施設との円滑な外来受診にむけて ～外来受診連絡票の見直し～

外 来

○豊島 香織 若月 由美 中島 澄枝
増井 佳織 大友 三紀

【はじめに】

当院は、協力病院として数多くの施設入居者様の外来受診を受け入れている。

外来受診時、施設看護師が付き添わない施設には外来受診連絡票（以下 連絡票）の提出をお願いしていたが、未提出や情報が不十分で患者様の状態を知らない職員が付き添う事もあり、診療に支障をきたす事があった。

そこで、以前からあった連絡票を見直し再作成し、使用した後 アンケート調査を行い、その結果に基づき外来での連絡票の記入や内容について検討を行った。

【研究方法】

対象：看護師以外の職員が付き添う3施設

方法：①連絡票の見直し、作成

見直しにあたり 今まで使用していた連絡票に対して要望を施設から聴取し、考慮しながら作成した。

②各施設へ説明、配布

③実施結果の分析（質問紙法）

倫理的配慮：アンケートは無記名とし、研究の趣旨を説明し協力を得た。

【結 果】

見直し後からの連絡票の提出は、ほぼ100%となった。

・アンケート結果

【外来Dr】

連絡票が、以前より詳しくなっており診察前に情報がわかるので役に立っている

施設も増えてきており、良い試みである

返事を書いているのが、良い(受診目的は何ですか?)ということ目目的をしぼれて、一番の症状がわかって良い

<改善点>

意識レベルの欄があったほうがよい

水分が取れていないのがいつからなのか入ったほうが良い

【当院外来NS】

以前より見易くなり、必要な情報が短時間で収集しやすくなった

何度も説明しなくてよくなった

<改善点>

薬の変更の有無を○で表示できると良い

身長、体重がわかるとよい

情報書コピーはこれからもとってほしい

記入スペースを広くしてほしい

【A施設NS】

変更があった時(特に薬)は、理由と内容を記載してほしい

指定医師の変更があった場合、理由を知らせてほしい

施設の記入に対しての返事が、あっさりしている

【A施設ヘルパー】

施設NSに伝え忘れが無くなった

施設NSから当院NSへの伝達がスムーズになった

【B施設職員】

記入する事で伝えなければならない事、医師に確認したい事が、整理され確認忘れや、報告忘れが減った

連絡票をファイルすれば受診報告の記録が省略出来るので有効活用が、出来ている

【C施設職員】

定期受診の用紙にも変化を記入する欄がほしい。病状により状況を書く欄（例 血圧値）が、あれば良いのではないかと

ご家族の方にも見せていきたい

連絡票は、非常に有難く、嬉しく思います。貴院との距離が近くなった様に思います

【考 察】

連絡票は、以前から使用していたが未提出や情報が不十分である事が多く、見直しが必要ではないかと言う事から今回この研究を行った。見直し後からの連絡票の提出は、ほぼ100%であった。今回の連絡票の見直し、作成に関して事前に施設の要望を取り入れた事と未提出を防ぐ為に医事課との協力のもとに再三の声かけをしていった結果だと考える。

アンケートの結果から、当院医師、看護師共に以前の連絡票よりも詳しくなっており、情報収集しやすくなっているとの結果が出ている。施設からは、以前より記入しやすくなり、伝達がしやすくなったとの結果だった。だが、改善点も何点か上がっておりあらたに検討の必要があると考える。

【ま と め】

アンケート結果を元に、連絡票を更に活用できるものへと変更し、情報書の記入内容を充実させる。他の施設へも連絡票の活用を促し、病院と施設との連携を深めていく。

【参考文献】

清水久美子・荒井美智子：成果を上げる外来看護取り組みガイド 日総研 2007

充実した看護プロフィールをめざして ～家族構成シートを使用して～

第2病棟

○伊賀万里子 佐藤美智子 多田加奈子
本郷由起子 三井 浩明 三原友紀子
小玉久美子 橋本 澄江 藤井はるみ

【はじめに】

第2病棟では、緊急入院が多い場合や、夜間、休日入院の場合などは時間をかけてアナムネーゼを聴取することができず、看護プロフィールが十分に記載されていないことが多くあった。連絡先が聴取できていなく、最新の情報が不足していたことで速やかに連絡が取れないケースがあった。そこで、看護プロフィールの家族情報欄である家族構成と連絡先、キーパーソンにしぼって、患者様やご家族様に記載していただく用紙（以下、家族構成シート）を作成し、試用した。この家族構成シートの試用により、看護プロフィールの家族情報欄の入力が十分なものになり、また看護師の入力する意識付けになったため報告する。

【研究方法】

①家族構成シートの作成、平成20年8月11日～8月29日に入院された患者様61名中46名の患者様対象に家族構成シートを試用し、電子カルテに入力されているかを確認